

知財AIエージェント時代の幕開け：AI Samurai「特許ウォーズ®」構想の全貌

2026年7月発表の新戦略。AI Samuraiが単なる検索ツールから「知財AIエージェント基盤」へと進化し、汎用LLMと特許データを直結させる技術や、複数のAIによる合議、大阪大学との共同研究を通じて知財業務全体をAIエージェント化する「特許ウォーズ®」構想の全貌。

知財エージェント化を支える「3つの新軸」



IP Samurai MCPサーバー 
Claude等の汎用AIを特許DBに直結し、ハルシネーションを防ぎつつ実データに基づいた回答を実現。



マルチAI機能
「三人寄れば文殊の知恵」 
GPT・Claude・Geminiが同一チャット上で議論し、審査官や弁理士の視点で発明を多角的に検証。



大阪大学との次世代共同研究
グラフマイニングやGraphRAG技術を応用し、将来的な「特許網（ポートフォリオ）自動生成」を目指す。



知財AIエージェント基盤

実務フローへのインパクトと提供価値

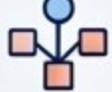


**分析作業時間を
約94%削減**
通常8時間かかるIPランドスケープ作成業務を約30分まで短縮。



「特許ウォーズ®」構想
   
発明創出 先行技術調査 明細書作成 戦略立案
発明創出から戦略立案までを一貫したAIシステムで繋ぐプラットフォーム。

機能・コンセプトの成熟度とステータス 実装・提供中 提供予定 共同研究 (R&D) 段階

機能・コンセプト名	現在のステータス	主な価値
 IP Samurai MCPサーバー	 実装・提供中	特許DB直結による信頼性の担保
 三人寄れば文殊の知恵	 提供予定	複数AIの合議による見落とし防止
 特許網自動生成	 共同研究 (R&D) 段階	グラフ技術による戦略提案の自動化



**AIレビューによる
品質管理の標準化**
符号整合や先行詞チェック、分野別レビューにより、熟練者の判断を支える前処理を高度化。